

人口減少対策

「第2期豊岡市地方創生総合戦略」を策定しました

豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている

2月21日に、2020年度から5年間の計画期間とする「第2期豊岡市地方創生総合戦略」を策定しました。

また、第2期豊岡市地方創生総合戦略の策定に合わせ「豊岡市人口ビジョン」を2015年国勢調査反映版として更新しました。

第2期豊岡市地方創生総合戦略

本市の地方創生は、人口減少対策です。

人口減少の最大の要因は、大都市に暮らす価値との比較において「豊岡に暮らす価値」が選ばれていないことを意味しています。

そこで「小さな世界都市・Local&Global City」を旗印として、突き抜けた「豊岡に暮らす価値と魅力」を創りあげるための施策を展開していきます。第2期地方創生総合戦略では、第1期で創り上げ

た基礎と成果を基に新たな視点も加え、さらに発展させていきます。

基本方針

定住する若者、とりわけ本市での女性の若者回復率が男性に比べて低いことから、若い女性を増やすことと、結婚する若者を増やすことを対策の柱に据えています。

※若者回復率 10歳代の転出超過数に対して20歳代の転入超過者数が占める割合

新たな視点

▼多様性を受け入れるまちづくり

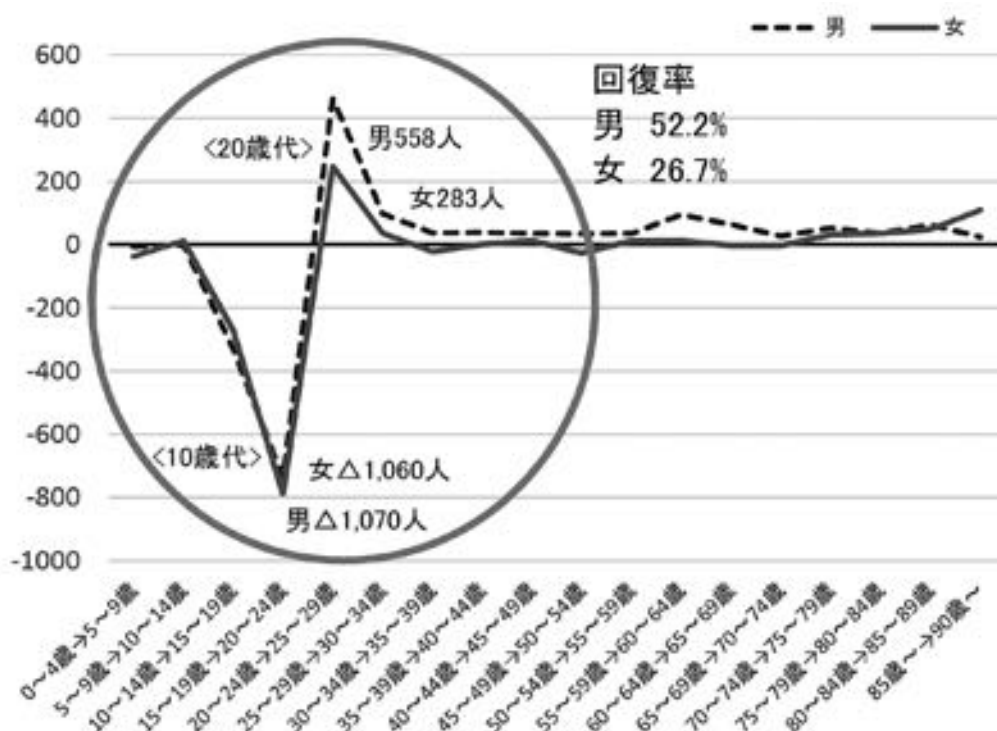
○女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）

○外国人住民との共生推進

▼深さをもった演劇のまちづくり

▼国際観光芸術専門職大学（仮称）との連携

《若者回復率（2010～15年）》



目指す姿と達成のための手段

5年後の姿		暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
指標		人口の社会減の緩和
取組みの6つの柱	1	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている 豊岡ファンミーティング、Uターン推進、Iターン推進 等
	2	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている IT企業誘致推進、創業支援、豊岡鞆・豊岡財布技術向上支援、多文化共生推進 等
	3	いきいきと暮らす女性が増えている ジェンダーギャップ解消推進、子育て中の女性の就労促進 等
	4	豊岡で人々が世界と出会っている インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、コウノトリ育むお米ブランド化推進 等
	5	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている ふるさと教育、高校生コミュニケーション教育等支援、非認知能力向上対策 等
	6	結婚したいと思う人が結婚できている 出会い機会創出、ボランティア仲人養成 等

豊岡市人口ビジョン
(2015年国勢調査反映版)

将来推計人口

2010年～15年の人口減少は、15年に推計した人口よりも、減少幅が若干小さくなりましたが、15年の8万2,250人が40年には5万7,770人、60年には3万8,529人になると推計されます。

人口等の将来目標

▼2040年の人口目標を6万2,165人とする。(何も対策を講じなければ5万7,770人となる)
▼合計特殊出生率(1人の女性が生涯に持つ子どもの数)1.82を、35年までに2.3に引き上げる。
▼若者回復率を現在の39.5%から25年までに50%に引き上げる。

《問合せ》政策調整課
☎21-9022

《2040年までの人口減少の破壊力イメージ(灰色の地域に相当する人口が消滅する)》

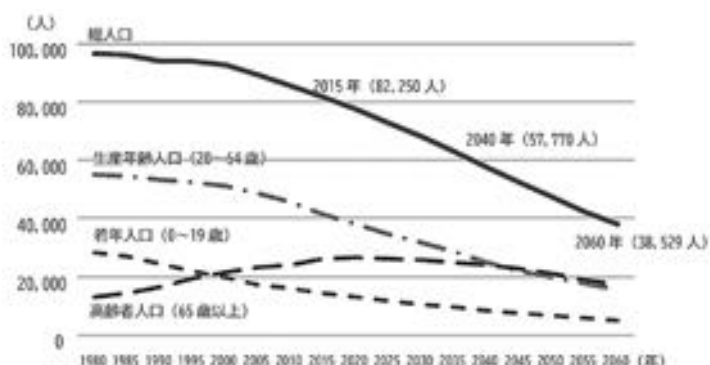
豊岡地域の56%が消滅

城崎・竹野・日高地域が消滅

城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%が消滅



《総人口と年齢3区分別人口の推移(1980~2060年)》



小さな世界都市 —Local & Global City—

人口規模は小さくても、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち。豊岡という地域(Local)に深く根ざしながら世界で輝くまち。